

自分でできるパソコンの初期診断 ～普段から気をつけていれば安心です～

パソコンは故障する前に、何らかの兆候が出ることが多く、早期発見ができれば、大きな被害が出る前に修理することができます。普段から少し気をつけていれば、故障の兆候はわかりますのでぜひ、実践してみましょう。

■普段から 目や耳、鼻で確認する

- パソコンから出る音に注意する
いつもより音が大きい、時々ガリガリと音がする逆にいつもする音がしない・・・など。
ハードディスクや冷却用ファンの異常が考えられます。
- ディスプレイの様子を確認する
時々暗くなる、画面がゆらゆらする、文字がにじむなど。ディスプレイやビデオ回路の異常が考えられます。また、液晶モニターは劣化すると赤味が強くなります。
- 焦げ臭い
冷却ファンの故障で内部が高温になる、電源端子やUSB端子の接触不良でショート状態になるなどで臭いが発生することがあります。この場合はパソコンが起動しないことが多いですが、すみやかに電源コードを抜きましょう。

■故障かな? と思ったら

- 大切なデータのバックアップ
パソコンが起動する場合は、パソコンに保存しているデータで、失いたくないものを、外付けハードディスクやUSBメモリー、CD-Rなど、パソコンの外にバックアップしておきましょう。
- 異常を感じたら早めに対処しましょう
動くからいいか・・・と使い続けていると、故障の症状がひどくなってしまうことがあります。軽度なうちなら修理時間は短く、修理費用も少なく押さえられることができます。

■リカバリディスクはありますか?

ハードディスク故障の際、修理するには「リカバリディスク（再セットアップディスク）」が必要になります。これは自分で作成しておく必要がありますので、必ず作成して大切に保存しておきましょう

Windows アップデートしてますか?

毎月第2水曜日は
マイクロソフト月例アップデート公開日

9月は... **9月 11日** 公開です
安全に使うために、忘れずに実施しましょう。

■パソコンの動作に注意する

- 使用中に勝手に再起動する
ウイルス感染の疑い、またはメイン基板やメモリーハードディスクの異常が考えられます。
- 起動・動作が遅い、固まる
Windows システムの不具合やハードディスクの故障が考えられます。ウイルス感染の疑いもあります。



【要注意】ハードディスクの故障は大切なデータを失う恐れがあります。ハードディスクの平均寿命は約5年と言われていています。大切なデータは、パソコンの外にバックアップしながら使うことをおすすめします。

- 本体が異常に熱くなる
ホコリなどが詰まり、パソコン内部の放熱がうまく行かないと、熱がこもります。熱がこもると、基板やメモリーが故障します。また、ハードディスクの寿命も短くなります。

取扱注意! パソコンは精密機器です!

フジデンキってこんな店 Vol.10

- どこで購入したパソコンでも修理いたします
大型家電店や通販はもちろん、オークションや中古パソコン友人、知人から譲り受けたパソコンなど購入・入手先に関わらず、パソコンの修理やサポートを承ります。

全メーカー対応ですので、どこに修理を依頼したらいいかわからないという時も、お気軽にご相談ください。

エイサーのタブレット修理ではホームページをご覧いただいた全国各地のお客様から、送られてきたものを修理しています。



フジデンキのパソコン修理実績はホームページでご覧いただけます。

<http://fujidenki.org/>



最新情報はホームページで!

<http://fujidenki.org/>

フジデンキ ブログ <http://blog.fujidenki.org/>

facebook <http://www.facebook.com/fujidenki>



おまかせください! インターネット&パソコン

フジデンキ

三春町字荒町56 tel.0247-62-3061

<http://fujidenki.org/> info@fujidenki.org

Facebook. <http://www.facebook.com/fujidenki>